

奉行所展示室リニューアルのお知らせ

長崎歴史文化博物館では、一部休室となっていた2階奉行所展示室がリニューアルオープンしました。ご多用中とは存じますが、ぜひご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

平成30年(2018)7月から改修のため一部休室となっていました奉行所展示室がこのたび工事を終え、リニューアルオープンいたしました。今回の改修工事は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産の推薦候補となったこと、さらに平成30年7月4日の登録を受けて、禁教期の理解がより深まる展示となるように実施したものです。



平成17年(2005)の長崎歴史文化博物館開館以来、奉行所展示室キリシタン関連展示コーナーでは、東京国立博物館のご協力を得て、長崎奉行所旧蔵のキリシタン関係遺品(重要文化財を含む)約80点を特別に長期貸与いただき、定期的な展示替えのもと、全国的にも稀な年間を通じての展示を実現し、県民・市民の皆様をはじめ、県外からお越しの皆様にも熱心にご観覧いただいているところです。

このたびの奉行所展示室リニューアルで大幅に変更したのがキリシタン関連展示コーナーです。解説は世界文化遺産のストーリーにも沿うかたちで「受難のはじまり」「大弾圧の時代」「沈黙の260年」「信徒発見」「最後の検挙」「高札撤去」「かくれキリシタン」のゾーンに再構成しました。

また、ストーリーを語るうえで欠かせない貴重なキリシタン関連遺品など各種資料の価値を損なうことなく次代へ引き継ぐため、適切な環境のもとでの展示・公開ができるように展示室自体の環境保持機能を強化したほか、既存の壁面付き展示ケースを廃止して最新の環境保持機能をもつ独立型のエアタイト展示ケースを導入しました。

この新しく生まれ変わった展示室から、長崎と長崎奉行所の歴史とともに、長崎奉行所によるキリシタン取締りの歴史と、キリシタンたちの信仰の姿をご紹介します。世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を中心とする「長崎のキリシタンの歴史と文化」が普遍的価値をもつものであることを世界に向けて広く発信していけるよう努めてまいります。

令和元年5月吉日

長崎県 長崎市 長崎歴史文化博物館

